

第3回 みやぎの運河群連絡調整会議 発表一覧表

NO,	機関・団体名	ページ数
1	NPO 法人ひたかみ水の里	P1
2	すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会	P10
3	貞山・北上・東名運河研究会	P12
4	貞山運河「御舟入堀」プロジェクト	P24
5	仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会	P25
6	貞山運河倶楽部	P27
7	一般社団法人貞山運河ネット	P30
8	新貞山ローイングクラブ	P32
9	環境省東北地方環境事務所	P34
1 0	多賀城市企画経営部市民文化創造課	P41
1 1	仙台市建設局百年の杜推進部公園整備課	P49
1 2	若林区まちづくり推進部海浜エリア活性化企画室	P51
1 3	宮城県 仙台土木事務所	P53

※1 団体（1 行政機関）5 分以内（約 90 分間）

※4 分で 1 回ベルを鳴らします。5 分で 2, 3 回ベルを鳴らしますので、速やかにまとめに入り、終了してください。



令和6年度 ひたかみ水の里の取り組み



NPO法人

ひたかみ水の里

令和6年度の事業

- **子どもの体験学習**
めだかっこクラブ、小中学校の総合学習支援、親子対象にした
カヌー体験など
- **河川の除草、清掃活動**
石井閘門周辺や北北上運河などの除草、清掃活動
- **水辺のイベント**
水辺を活用したイベント

親子カヌー体験

7月から石巻管内の親子対象に実施。9月、10月も実施予定



小学校の力又一体験

下伊場野小学校(大崎市)で実施、9月には中里小学校(石巻市)も予定



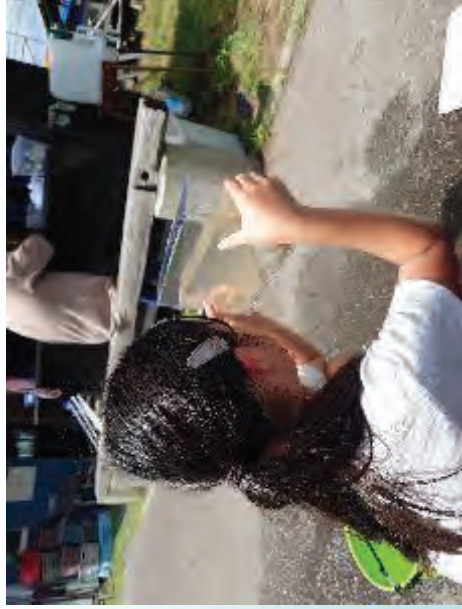
めだかつこクラブ

カヌー体験や水生生物調査、水難救助、キャンプなどを実施



めだかつこクラブ

カヌー体験や水生生物調査、水難救助、キャンプなどを実施



除草・清掃活動

北北上運河や中里川の除草・清掃活動を実施



水辺のイベント

水辺で乾杯、北上川の上下流めぐりを実施
他団体と協力してカヌーとサイクルや米運びのイベントを予定



ありがとうございました



R5 年度 活動実績（すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会）

年月日	内 容
4/10	野蒜塾・後藤先生指導のもと水質調査
6/2	水道企業団と水道管撤去に係る現場協議
7/12	東部土木事務所と石巻工業校ボート部との協議に立ち合い (距離表示板設置に関する協議)
7/19	貞山小学校 4 年生対象にカヌー教室実施
9/11 11/1	釜閘門公園整備に関し、東部土木事務所と釜地区代表との打ち合わせアレンジ立ち合い
10/10	水道企業団と水道管撤去工事に伴う松の木の倒木確認
11/2	国交省、東部土木事務所、石巻市役所と共同で石井閘門～釜閘門間の現地視察
11/17	水道企業団と松の木の倒木補償に合意
3/7	東部土木事務所に釜閘門公園整備計画を説明
4/1 5～ 10/ 14	中埜橋～中浦橋間雑木草除去活動 原則隔週土曜日 延べ505人参加
1月～ 12 月	石井閘門～釜閘門沿線ごみ拾い

すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会

令和6年度活動計画

1. 協働のまちづくり事業
 - ・ 沿線のごみ拾い：通年
 - ・ 中坪橋～中浦橋雑木雑草除去作業：4月～10月隔週土曜日
 - ・ 桜、松の植栽：随時
2. 官民協力事業
 - ・ 国、県、市と一緒に現地視察、問題点の共有：11月頃
 - ・ 石井閘門、釜閘門近辺の公園推進：具体化に向け協議中
 - ・ 水質浄化⇒最重要課題として具体的取組に着手

○ 現地での説明（貞山・北上・東名運河研究会・後藤などが対応、学会発表の資料をもとに説明）

・野蒜築港の歴史、頓挫の歴史と教訓

（鳴瀬川河口、野蒜海岸の地形の成り立ち、河口港の宿命・堆砂問題、

オランダ技術者による明治三大築港での技術検証、日本の近代港湾技術への教訓など）

・津波被災の状況

・悪水吐暗渠（震災前後）の知見（近代土木技術としての価値と歴史的な位置付けなど）

・レンガ橋台の構造と津波遺構としての検証（3つの橋の津波被災パターンが異なる）

・市街地跡の保存状況（市街地計画の特徴、マンハッタンの市街地に酷似の訳など）

・野蒜測候所の保存状況（測候所の果たした役割など）

・黒沢敬徳碑の保存状況（市街地跡の環境整備の状況）

・野蒜築港記念碑（天屋公園）の保存状況

・東北の三大近代土木遺産（野蒜築港、安積疏水、万世大路、いずれもオランダ人が関与）としての東北開発の先陣を担った近代土木遺産群。

これに伴い、もともと学力と施工技術を近世から備えていた東北や日本の土木技術者達が実力を伸ばしました。「野蒜築港」頓挫から学ぶ幕末から明治初頭の近代土木技術の変遷を検証し、その学術的な意義を考えます。

○参加者（8/23 現在）

知野泰明 日本大学工学部土木工学科 教授

（公社）土木学会選奨土木遺産委員会 委員長

（公社）土木学会東北支部選奨土木遺産選考委員会 委員長

（公社）土木学会土木史委員会 前委員長

中井 祐 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授

（公社）土木学会土木史委員会 委員長

土田宏成 聖心女子大学 現代教養学部 史学科 教授

（公社）土木学会土木史委員会 幹事

木村 晃 国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所 副所長

? 宮城県河川課、東部土木事務所

松崎哲也 東松島市教育委員会 文化財係

小山 修 株式会社 奥松島観光物産公社 代表取締役（前東松島市 副市長）

? 野蒜築港ファンクラブ

佐々木勝久 野蒜塾

後藤光亀 貞山・北上・東名運河研究会 代表世話人

（公社）土木学会東北支部選奨土木遺産選考委員会 副委員長

○（公社）土木学会と「野蒜築港跡」とのこれまでのかかわり

社団法人土木学会東北支部では、平成10（1998）年度より「土木の日」のPRの一環として「野蒜築港120年委員会」を設立し、野蒜築港事業の歴史と意義を解き明かし、この貴重な近代土木遺産を後世に伝えるさまざまな活動を行ってきました（土木学会東北支部HPより）。

「野蒜築港120年委員会」は、明治政府直轄事業である野蒜築港が着工した明治11（7878）年から120年の節目として設立され、野蒜築港を始め北上運河、東名運河、貞山運河などの舟運などに関し、地元の小学校・高校の総合的学習や生涯学習と連携してその歴史的な意義を検証してきました。また、明治三大築港（野蒜港・宮城県、三国港・福井県、三角港・熊本県）との方々とも情報・意見交換や交流を実施してきました。

平成12年（2000）年度に、土木学会「選奨土木遺産」認定制度が開始され、東北地区では、まず第一に「野蒜築港関連事業」が候補となり、野蒜築港市街地跡、石井閘門、北上運河、東名運河、貞山運河（宮城県が3つの堀を野蒜築港に関連して拡幅改修）が認定されました。石井閘門は2年後に国の重要文化財に指定されます。

明治三大築港

オランダ人のかかわり **ドールン**、**エッセル**、**ムルテル**

宮城県・野蒜港 **設計者・ドールン**、鳴瀬川の粗朶沈床の被災、舟溜の堆砂
明治11年7月着工
波浪を防ぐ外防波堤が未施工(第二期工事)
被災の調査・**ムルテル**→再興には多額の費用、**実質ダメ出し**

福井県・三国港 **エッセル**、九頭竜川の粗朶沈床(エッセル堤)、苦勞しながら機能発揮
明治11年6月着工

熊本県・三角港 **ムルテル**が熊本県提案の河口港を変更し、三国港へ設計変更した
明治17年5月着工
野蒜港の挫折、三国港の苦惱は、三角港に活かされた

幻の港・野蒜築港は、その後の港湾建設の貴重な教訓となった

○ 東北の三大近代土木遺産「野蒜築港」「安積疏水」「万世大路」 2024.09.29 10.20

東北の三大近代土木遺産である「野蒜築港」「安積疏水」「万世大路」はいずれもオランダ人技術者が関与しており、近年、これらの土木遺産を巡るインフラツアーが動き出しています。

東北の三大近代土木遺産

いずれも、内務省お雇いオランダ人が関与

野蒜築港 明治政府直轄事業・東北開発の交通網の中心港を期待された
幻の港が教えるものは… **ドールンの設計、ムルテルの技術伝承**

安積疏水 日本初・明治政府直轄の農業水利事業 **ドールンの監修・助言**
先人の地を見る力、**地元土木技術者**たちの活躍

万世大路 先端技術を駆使し、**地元が造り上げた土木構造物** **エッセルの助言**
栗子山隧道、石橋群

これまでも、貞山・北上・東名運河研究会や野蒜塾では、安積疏水や万世大路の関係者を招き、野蒜築港と共に、土木遺産の顕彰や情報交換を行ってきた。その結果、以下の2件のインフラツアーが動き出している。

1) 米沢市万世コミュニティーセンターの「野蒜築港」視察 2024.09.29

米沢市万世町の住民の方々が、歴史の道土木遺産萬世大路保存会の梅津会長の幹旋で、8/22 に視察の下見(東松島市商工観光課、東松島市震災伝承館(旧JR仙石線野蒜駅)奥松島観光物産公社、野蒜市民センター、キボッチャ(旧野蒜小学校)、宮城県漁業協同組合鳴瀬支所、貞山・北上・東名運河研究会と野蒜塾などが対応)、9/29(日)に約30名で視察(バス)の予定。前年度に「安積疏水」を視察済み。

2) 歴史の道土木遺産萬世大路保存会の「野蒜築港」視察 2024.10.20

米沢市の歴史の道土木遺産萬世大路保存会の役員の方々を中心に、10/20(日)に約30名で視察(バス)の予定。

これらも含め、南東北インフラツアーとして、宮城県・福島県・山形県の土木遺産関係者が旅企画を検討中。

2023年
12/16
(土)
13:00
15:30

東名運河 着工140周年記念フォーラム
野蒜築港・東名運河を学ぶ
～広井勇「日本築港史」に学ぶ「幻の港」野蒜築港～

場所
東松島市 亀岡
キボッチャ
(旧野蒜小跡)

明治11(1878)年、明治政府の大久保利通内務卿が推進した政府直轄の近代港湾事業・野蒜築港が着工、同15(1882)年野蒜港が開港します。この鳴瀬川河口への近代港湾の建設には、鳴瀬川からの出水・流砂や、海岸線の波・流れによる漂砂、さらに岩礁など、地形の成り立ちやその地形変遷が課題でした。また、宮戸島の汽船錨地の堆砂問題から明治16(1883)年より東名運河の開削が開始され、同17(1884)年に完成します。

これまで、平成30(2018)年に野蒜築港着工140周年記念フォーラム、令和4(2022)年に野蒜築港開港140周年記念フォーラムを開催し、野蒜築港の目的である東北交易の扇の要を踏まえ、岩手・山形・福島各県との交流を行ってきました。本年10月、文化庁が「野蒜築港跡」を国指定の史跡相当リストに登録、学術的価値が高いと発表！今回は、東名運河着工140周年記念として、今一度「野蒜築港・東名運河」を学びます。さまざまな専門家も交え、普段聞けない項目の情報・意見交換を行います。ご参加、お待ちしております！

- ・伊能忠敬の測量図・旧版地図に見る野蒜海岸の前進速度
- ・「野蒜築港之図」「日本築港史」に見る設計・施工変更
～港口・変更の理由、突堤施工の問題点と対応策～
- ・野蒜築港の潜堤・新鳴瀬川・野蒜開門の機能
- ・東名運河の開削 ～砂地を掘る、柴工護岸～
- ・東名運河の路線と塩田開発 ～先人の地形の読み方～
- ・野蒜測候所が果たした役割
- ・レンガ橋台 ～津波被災が教えてくれたもの～
- ・悪水吐暗渠はどう使用された ～潮汐と排水の状況～

検討会+懇談会

日時：2023.12.16 (土)
16:30～18:30
場所：キボッチャ
参加費：3000円+α

○アドバイザー(予定)
国土交通省北上川下流河川事務所、仙台港湾空港技術調査事務所、国土地理院東北地方測量部、宮城県、東松島市、東松島市教育委員会、野蒜まちづくり協議会、野蒜築港ファンクラブ

主催：野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会
連絡先：野蒜塾 早川 室 080-1855-2848、
貞山・北上・東名運河研究会 後藤光竜 090-4476-0810、E-mail:kokigotoh@gmail.com




野蒜築港市街地跡 新鳴瀬川とレンガ橋台
野蒜築港 鳴瀬川河口の突堤・粗朶沈床の設計図

2023年
12/16
(土)
13:00
15:30

東名運河 着工140周年記念フォーラム
野蒜築港・東名運河を学ぶ
～広井勇「日本築港史」に学ぶ
「幻の港」野蒜築港～ 参加者29名

場所
東松島市 亀岡
キボッチャ
(旧野蒜小跡)

日時：2023年12月16日(土) 13:00～15:30
場所：東松島市 キボッチャ
主催：野蒜塾 貞山・北上・東名運河研究会

開会挨拶
野蒜塾
早川副代表

祝辞
東松島市
小山副市長

アドバイザー
北上川下流河川事務所
齋藤所長

アドバイザー
仙台港湾空港技術調査事務所
佐々木所長

アドバイザー
国土地理院
東北地方測量部
木村次長

閉会挨拶
野蒜塾
多田副代表

東北初の野蒜測候所
明治の野蒜測候所の観測データを用いた突堤破壊過程の文献紹介

古代～近世までの舟運等を解説
(日本災害防災考古学会
元東北歴史博物館 相原氏)

野蒜築港の潜堤、新鳴瀬川の機能を考察。流域が大きく急こう配の日本の河川で、土砂供給量の大きさや流砂・漂砂の評価が過小であった？(齋藤所長)

鳴瀬川河口の岩礁(野蒜塾・佐々木氏)

漂砂問題は現在も進行中(齋藤所長)

野蒜築港 鳴瀬川河口の突堤・粗朶沈床の設計図
ドールン計画の粗朶沈床は満潮面付近の施工が困難で、途中で設計変更して明治15年の開港を迎えた。外洋から舟溜りへの砂による舟運の放除け機能は果たせた？(佐々木所長)
突堤周辺は漂砂による堆積で水深が減少、当初計画の吃水の大きな船の入港が困難であった？

フォーラムでは、絵図、旧版地図、地理院地図などを活用、また、地表面だけでなく地中也含まれた「地形の見える化」を議論しました(木村次長)

活発な意見交換が行われました！

参加者からも、たくさんの質問がありました！

作図：貞山・北上・東名運河研究会 後藤光竜

○ 令和5年度 活動報告

1. 仙台二華高校・フィールドワーク ～野蒜海岸・洲崎湿地編～ (抜粋) 2023.09.28

仙台二華高校1年生・70名が、野蒜海岸・洲崎湿地のA・B・C・D4コースの研修を行いました。各コースは地元の民間団体(野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会等)や行政等がサポートしました。総勢約100名の研修会です。



Aコース

宮城県・野蒜塾・国土交通省



Bコース

野蒜塾・ヒマジン



Cコース

東松島市



Dコース

国土地理院・野蒜塾



キボッチャ



佐藤校長

仙台二華高校

A: 鳴瀬川河口～水と砂のものがたり、品井沼・吉田川・背割堤、河口堆砂、野蒜築港・頓挫の歴史～ (2023年度版)

流域治水、河口・砂浜海岸の堆砂問題、野蒜築港・頓挫の歴史(突堤・北上運河・東名運河)等 (写真: 多田孝基)

国土交通省 北上川下流河川事務所(高橋・齋藤・虻川) → 流域治水、防災の歴史

宮城県(水田・若生) → 防災林の意義と保育 野蒜塾(多田) → 野蒜築港などの地元の歴史

野蒜塾(佐々木) → バス内でのガイド(往路: 仙石線廃線跡「奇跡の丘」、帰路: 奇岩「陸の松島」など)



国土交通省: 「流域治水」って何?



宮城県: 防災林の保育、どうするの? (撮影: 多田)

B: 野蒜海岸～海浜植物が守ったものは? 汀の攻防: オニハマダイコン植生調査 (写真: 飯川悦子、佐々木勝久、多田孝基)

野蒜塾(飯川・門脇・佐々木) → 海浜植物の標本、オニハマダイコン・GPSカメラ撮影

ヒマジン(関口) → 海岸線のゴミ、利活用



海岸線のゴミや利活用の説明(ヒマジン: 関口)、植生調査の手ほどき(野蒜塾: 飯川)



植生調査の後、砂浜の波打ち際で、しばし波と戯れる! しっかりと、波をかぶりました! (撮影: 佐々木・飯川)

C: 奇跡の湿地「洲崎湿地」復興計画 ～震災後の復興過程で見てきたものは?～

東松島市(森課長)・野蒜塾(浜) → パネルで説明

D: 奇跡の湿地「洲崎湿地」の水環境・生態系 ～なぜに奇跡の湿地か? 貞山・北上・東名運河研究会

野蒜塾(早川・大山) → 水鳥の観察、生き物調査、昔の魚とり

(後藤) → 洲崎湿地のできるまで、水鳥大襲来・生態系への影響は? 酸欠の水はなぜできる、



水鳥の観察



生き物調査



チチブの顔、第人気でした!

○ **地形の成り立ちと災害** ～なぜに災害が起こるのか、どのように逃げればよいのか～

国土交通省国土地理院 (山田・楡山) → タブレット・ルーターで地理院地図の利活用を習得。



高校では、2022年度から「総合地理」が必修科目となったので、仙台二華高校でも「地理院地図」の学習を実践しているようですが、自分や周りの人々の身を守るための「地理院地図」の活用にはなっていないようです。

この若い世代が、非常時に災害情報をしっかり把握し、親族や地域の方々に危険を知らしめ「一緒に逃げっぺし！」と言っただけのように期待したいと思います (貞山・北上・東名運河研究会)。

○ **閉会の挨拶** 仙台二華高校の2クラス (70名) の代表・2名からお礼の挨拶



集合写真 皆さん、いい笑顔です！ 天候にも恵まれました！ スタッフの皆さん、お疲れ様でした！

2. 東名運河 着工140周年記念 フォーラム 2023.12.16

2023年
12/16
(土)
13:00
15:30

東名運河 着工140周年記念フォーラム
野蒜築港・東名運河を学ぶ
～広井勇「日本築港史」に学ぶ「幻の港」野蒜築港～

場所
東松島市 亀岡
キボッチャ
(旧野蒜小跡)

明治11 (1878) 年、明治政府の大久保利通内務卿が推進した政府直轄の近代港事業・野蒜築港が着工、同15 (1882) 年野蒜港が開港します。この鳴瀬川河口への近代港湾の建設には、鳴瀬川からの出水・流砂や、海岸線の波・流れによる漂砂、さらに岩礁など、地形の成り立ちやその地形変遷が課題でした。また、宮戸島の汽船錨地の堆砂問題から明治16 (1883) 年より東名運河の開削が開始され、同17 (1884) 年に完成します。

これまで、平成30 (2018) 年に野蒜築港着工140周年記念フォーラム、令和4 (2022) 年に野蒜築港開港140周年記念フォーラムを開催し、野蒜築港の目的である東北交易の扇の要を踏まえ、岩手・山形・福島各県との交流を行ってきました。本年10月、文化庁が「野蒜築港跡」を国指定の史跡相当リストに登録、学術的価値が高いと発表！ 今回は、東名運河着工140周年記念として、今一度「野蒜築港・東名運河」を学びます。さまざまな専門家も交え、普段聞けない項目の情報・意見交換を行います。ご参加、お待ちしております！

- ・伊能忠敬の測量図・旧版地図に見る野蒜海岸の前進速度
- ・「野蒜築港之図」「日本築港史」に見る設計・施工変更
～港口・変更の理由、突堤施工の問題点と対応策～
- ・野蒜築港の潜堤・新鳴瀬川・野蒜閘門の機能
- ・東名運河の開削 ～砂地を掘る、築工護岸～
- ・東名運河の路線と塩田開発 ～先人の地形の読み方～
- ・野蒜測候所が果たした役割
- ・レンガ橋台 ～津波被災が教えてくれたもの～
- ・悪水吐暗渠はどう使用された ～潮汐と排水の状況～

検討会+懇談会

日時：2023.12.16 (土)
16:30～18:30
場所：キボッチャ
参加費：3000円+α

○アドバイザー (予定)
国土交通省北上川下流河川事務所、仙台港湾空港技術調査事務所、国土地理院東北地方測量部、宮城県、東松島市、東松島市教育委員会、野蒜まちづくり協議会、野蒜築港ファンクラブ

主催：野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会
連絡先：野蒜塾 早川 宏 080-1855-2848、
貞山・北上・東名運河研究会 後藤光寛 090-4476-0810、E-mail:kokigotoh@gmail.com




野蒜築港市街地跡 新鳴瀬川とレンガ橋台
野蒜築港 鳴瀬川河口の突堤・粗梁沈床の設計図

高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」 新発見

水辺環境フォーラム

～次世代につなぐ～

仙台二華高校の生徒による授業やクラブ活動による野蒜海岸や洲崎湿地の調査、そして野蒜塾や貞山・北上・東名運河研究会などの調査活動で、「ふるさと野蒜」に多くの知見が集積しつつあります。高校生と共に野蒜海岸・洲崎湿地の自然の営みについて情報発信と意見交換を行います！ぜひ、ご参加ください！



洲崎湿地・カワセミ



野蒜海岸・スナガニ調査
2023.10.29



洲崎湿地
コブハクチョウの子育て
2023.08.02



野蒜海岸
防災林のマツバ集め
仙台二華高校 2023.10.29



洲崎湿地Ⅰ
カイツブリ親子
2023.07.31



洲崎湿地Ⅰ
嵐で流れた着いた浮巢
カイツブリの卵4個
2023.06.17



洲崎湿地Ⅱ
ゴイサギの幼鳥
2023.08.02

2024年 **1月28日**(日) 09:30～12:30

場所：東松島市 野蒜市民センター 2階

主催：野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会

共催：東松島市、阿武隈生物研究会

後援：国土交通省北上川下流河川事務所、国土地理院東北地方測量部、宮城県、東松島市教育委員会、野蒜まちづくり協議会

09:00～09:30 会場準備、
09:30～09:40 開会あいさつ

総合司会：野蒜塾

来賓（敬称略） 東松島市長、東松島市教育長、
宮城県議会議員・高橋宗也、国土交通省 北上川下流河川事務所、
国土地理院東北地方測量部、宮城県東部土木事務所、
宮城県東部地方振興事務所（予定）

09:40～10:40 **〇生き物たちから見た「ふるさと野蒜」の水辺環境**

- 〇野蒜塾 & 貞山・北上・東名運河研究会+東北大学+福島大学+東松島市
- ・野蒜海岸の地形の成り立ちと塩性湿地の生き物たち～ボラとサギの生き残り戦略～
- ・洲崎湿地のアオコ発生状況 ～汽水域でのアナベナ属のアオコ発生～ 東北大学
- ・野蒜海岸の利活用 ～ルールづくり～
- ・洲崎湿地の水辺環境整備について 東松島市+福島大学
- ・おらほのこどぼ ～「ん」で始まる野蒜介～

10:40～10:50 休憩

10:50～12:20 **〇高校生から見た「ふるさと野蒜」の水辺環境**

- 〇仙台二華高校（仮題）
- ・野蒜海岸のスナガニ調査から見る水辺環境 2年・課題研究Ⅱ
- ・洲崎湿地のコブハクチョウの子育て調査から見る水辺環境 2年・課題研究Ⅱ
- ・野蒜海岸の防災林の保育とマツバの堆肥化 国際バカロレア5名・5題
- ・松島湾層群松島層より見つかったガラス質火山礫から推定される火山活動 2年 地学部

12:20～12:30 総評

12:30 閉会の挨拶

連絡先：野蒜塾 早川 宏 080-1855-2848、
貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀 090-4476-0810、E-mail:kokigotoh@gmail.com



洲崎湿地Ⅱ・アオサギ
夜～朝まで約7時間
同じ場所で動かず採餌
2023.12～2024.01



シオフキガイ 2023.10.29



体長23cmのボラ

「ん」で始まる おらほの方言
「んだ」、「んで」…
そ系列の指示語と助詞



洲崎湿地Ⅲ・アオコ状況
2023.09.07



野蒜海岸での密漁? 2023.05.21



今年もざわめく塩性湿地! 魚影・その数、数百以上・・・

塩性湿地のボラ
冬に向かって水深が低下すれば、
サギたちの餌になるのは必然!



アオコの原因藍藻類アナベノプシス属
撮影：内野先生（仙台二華高校）

4. **高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」水辺環境フォーラム第6弾** ～次世代につなぐ～ 2024.08.01

8/1, 43名の参加者を得て水辺環境フォーラムが開催されました。特に高校生の研究発表には多くの意見やアドバイスが寄せられました。今後の研究の進展が期待されます。

午後の現地見学会には、25名の参加で、防災林クロマツのマツバの堆肥化～実生のクロマツ群落～砂浜海岸の海浜植物と防災機能などに関し、情報・意見交換を行いました。

水辺から地層を元気に

水辺・絆プロジェクト

本事業は、一部「水辺・絆プロジェクト2024」の副産を受けて実施します

高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」第7弾

水辺環境フォーラム

～次世代につなぐ～

仙台二華高校の授業・クラブ活動や野蒜塾と貞山・北上・東名運河研究会による野蒜海岸・洲崎湿地の調査活動で「ふるさと野蒜」に多くの知見が蓄積しています。今回は、水の流れと風による砂の動きを考えます。堆砂は明治政府直轄事業の野蒜築港の頓挫や東名運河の開削の重要な要因でした。高校生と共に野蒜海岸・洲崎湿地の自然の営みや歴史・暮らしについて情報発信と意見交換を行います！



海浜植物への影響懸念車の乗り入れ
2024.06.08

2024年 8月1日(木) 09:30～12:30

場所: 東松島市 野蒜市民センター **参加費:** 500円(大学生以上) 100円(高校生)

主催: 野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会 **共催:** 東松島市、阿武隈生物研究会
後援: 国土交通省北上川下流河川事務所、国土地理院東北地方測量部、宮城県、東松島市教育委員会、野蒜まちづくり協議会(予定)

09:00～09:30 会場準備 統合司会: 野蒜塾

09:30～09:40 開会あいさつ

来賓(敬称略) 東松島市長、東松島市教育長、宮城県議会議員、国土交通省北上川下流河川事務所、国土地理院東北地方測量部、宮城県東部土木事務所、宮城県東部地方振興事務所(予定)

09:40～10:15

○基調講演「鳴瀬川・吉田川の河口から見た流域治水」～流砂・漂砂とは～
野蒜海岸を育てた鳴瀬川、吉田川、北上川… **国土交通省北上川下流河川事務所 所長 斎藤喜浩**

10:15～11:00

○話題提供「ふるさと野蒜」の水辺環境

- ・ 岩石の結晶から読み解く奥松島の地層と地形の成り立ち(仮題) 仙台二華高校・地学部 元顧問 花松俊一
- ・ 野蒜海岸の砂浜の機能と利活用
砂浜がやせる・ふとる? 風のしわざ・飛砂? 野蒜海岸の砂浜地形と海浜植物、砂浜海岸の防災機能とは… 野蒜海岸のルールづくり、知ってる? レジャー密漁など、野蒜海岸の現状と課題を紹介します
貞山・北上・東名運河研究会 野蒜塾

11:00～11:10 休憩

11:10～12:20

○高校生から見た「ふるさと野蒜」の水辺環境 仙台二華高校・2年課題研究Ⅱより

- ・ **どうする? 野蒜海岸・防災林の保育**
野蒜ヶ丘の造成残土を盛土してクロマツを植林した野蒜海岸の防災林、これから長い保育が必要です。その間、マツバ、松ぼっくり、間伐材、光競合を起こすたの除草されるクズなどが多量に排出されます。その利活用として、マツバの堆肥化、土壌動物の機能、マツバサイダー、着火剤、クズのリースづくりなどの取り組みを紹介します
- ・ **どうなる? 野蒜海岸の砂浜と海浜植物**
砂浜断面と海浜植物の機能、海岸への漂着物の役割などを学びます

12:20～12:30 **総評**

12:30 **閉会の挨拶**



野蒜海岸・洲崎川の看板 レジャー密漁とは



野蒜海岸・防災林の保育
2024.06.30



オオバシのつがいと4羽の子がミ
洲崎湿地 2024.06.10



震災復興伝承館
東名運河
防波堤
野蒜海岸
集会場所

○ 現地見学会

2024年 8月1日(木) 13:30～15:00 保険代: 100円

集合場所: 野蒜海岸・防波堤の路肩 (右図参照)

見学場所: 野蒜海岸・砂浜地形の成り立ち・歴史とくらし
～防災林・林内の環境調査・マツバの堆肥化～実生のクロマツ群落・鷲ノ巣岩
～砂浜海岸と海浜植物・防災機能・ルールづくり

連絡先: 野蒜塾 早川 宏 080-1855-2848
貞山・北上・東名運河研究会 後藤光竜
090-4476-0810, E-mail: kokigotoh@gmail.com

5. 仙台二華高校・フィールドワーク ～野蒜海岸・洲崎湿地編～（抜粋） 2024.09.26

仙台二華高校1年生・70名が、野蒜海岸・洲崎湿地のA・B・C・D4コースの研修を行います。各コースは、地元の民間団体（野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会等）や行政がサポートします。

6. 「野蒜築港跡」国の史跡相当リストに登録 2023.10.27 2024.09.04

○ 令和6年9月4日(水)14:00～ 集合:JR 仙石線 野蒜駅前・駐車場 「野蒜築港跡」現地視察

国の「史跡相当」遺跡相当リスト 42件を選定 文化庁が初公表、開発懸念で 2023年10月27日 共同通信

文化庁は令和5年10月27日、全国の埋蔵文化財（遺跡）の中から国指定の史跡に相当する価値がある27県の計42件を初めて選び、公表した。史跡になれば開発行為に強い規制がかかるが・・・

遺跡のある土地は全国に約47万件あり、各自治体が「周知の埋蔵文化財包蔵地」として地図で公表するなどしている。このうち史跡指定されるのは学術的価値が高く所有者の同意が得られたものに限られる。

○ 第一期リスト掲載遺跡一覧（東北地方分）

- 1. 福島城跡（青森県五所川原市） 2. 早稲田・野口貝塚（青森県三沢市）
- 3. 南部家墓所（岩手県盛岡市） 4. 黒山の昔穴（岩手県九戸村）

5. 野蒜築港跡（宮城県東松島市）…近代遺産では全国唯一

6. 仙台藩主伊達家墓所（宮城県仙台市）

7. 胡桃館遺跡（秋田県北秋田市）

8. 八十里越（福島県只見町・新潟県三条市、魚沼市）

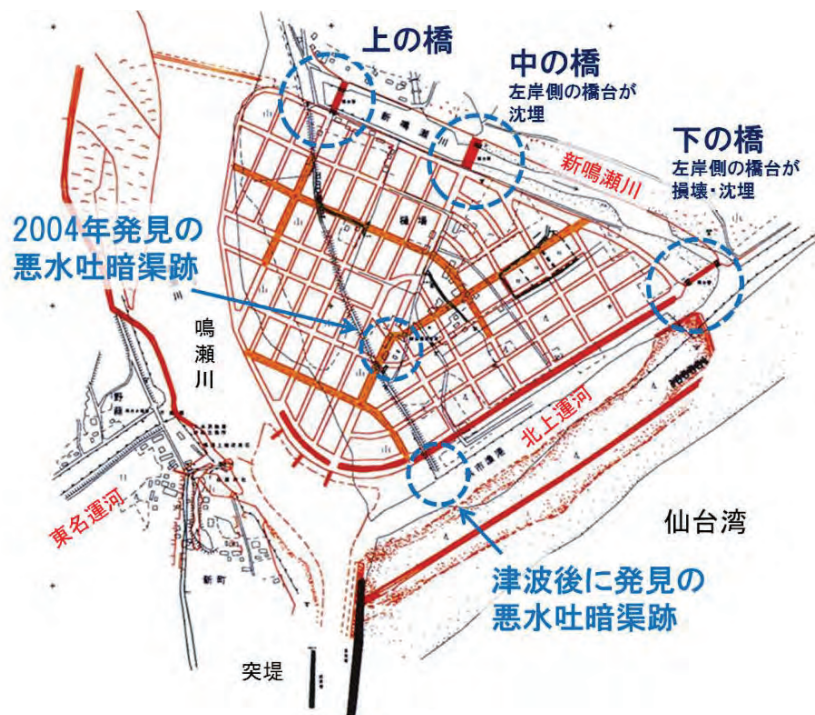


図 野蒜築港市街地跡の土木遺産

上：新鳴瀬川のレンガ橋台群と悪水吐暗渠（黒：現況、平成11年現在、赤：野蒜築港市街地（築港当時）、橙：悪水吐暗渠 協力：(株)大江設計）。下：新鳴瀬川と下の橋（左岸）（特徴的な歴史的遺産の市街地跡も、東日本大震災後の復興創生工事で消えつつあり、その保存のあり方が問われている）

令和6年7月3日の（公社）土木学会東北支部選奨土木遺産選考委員会で、9/3～9/6に開催される土木学会全国大会（仙台大会）期間中に、土木学会土木史委員会の専門家と地元の行政や市民団体と共に「野蒜築港跡」を現地視察する企画が提案された（貞山・北上・東名運河研究会）。関係機関との調整の結果、9/4（水）14時から、現地視察を実施することとなった（企画・運用：貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀）。

○ (公社) 土木学会と「野蒜築港跡」とのこれまでのかかわり

社団法人土木学会東北支部では、平成10(1998)年度より「土木の日」のPRの一環として「野蒜築港120年委員会」を設立し、野蒜築港事業の歴史と意義を解き明かし、この貴重な近代土木遺産を後世に伝えるさまざまな活動を行ってきました(土木学会東北支部HPより)。

「野蒜築港120年委員会」は、明治政府直轄事業である野蒜築港が着工した明治11(1878)年から120年の節目として設立され、野蒜築港を始め北上運河、東名運河、貞山運河などの舟運などに関し、地元の小学校・高校の総合的学習や生涯学習と連携してその歴史的な意義を検証してきました。また、明治三大築港(野蒜港・宮城県、三国港・福井県、三角港・熊本県)との方々とも情報・意見交換や交流を実施してきました。

平成12年(2000)年度に、土木学会「選奨土木遺産」認定制度が開始され、東北地区では、まず第一に「野蒜築港関連事業」が候補となり、野蒜築港市街地跡、石井閘門、北上運河、東名運河、貞山運河(宮城県が3つの堀を野蒜築港に関連して拡幅改修)が認定されました。石井閘門は2年後に国の重要文化財に指定されます。

9/3~9/6に、令和6年度土木学会全国大会(仙台大会)が東北大学や仙台国際センターで開催され、全国から研究者や技術者が仙台に集まります。この機会に、9/4、「野蒜築港跡」視察が企画されています。参加者は、土木学会土木史委員会の専門家と地元の行政や市民団体などで、「野蒜築港跡」の現状と今後の展開について情報・意見交換を行います。

企画・運用 貞山・北上・東名運河研究会 代表世話人 後藤光亀
連絡先: 090-4476-0810 kokigotoh@gmail.com

- 参加者 (8/23現在、移動: 国土交通省北上川下流河川事務所と奥松島縄文村歴史資料館のワゴン車)
- 知野泰明 日本大学工学部土木工学科 教授
(公社) 土木学会選奨土木遺産委員会 委員長
(公社) 土木学会東北支部選奨土木遺産選考委員会 委員長
(公社) 土木学会土木史委員会 前委員長
- 中井 祐 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
(公社) 土木学会土木史委員会 委員長
- 土田宏成 聖心女子大学 現代教養学部 史学科 教授
(公社) 土木学会土木史委員会 幹事
- 木村 晃 国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所 副所長
? 宮城県河川課、東部土木事務所
- 松崎哲也 東松島市教育委員会 文化財係
- 小山 修 株式会社 奥松島観光物産公社 代表取締役(前東松島市 副市長)
? 野蒜築港ファンクラブ
- 佐々木勝久 野蒜塾
- 後藤光亀 貞山・北上・東名運河研究会 代表世話人
(公社) 土木学会東北支部選奨土木遺産選考委員会 副委員長

明治三大築港

オランダ人のかかわり **ドールン**、**エッセル**、**ムルテル**

宮城県・野蒜港 設計者・**ドールン**、鳴瀬川の粗朶沈床の被災、舟溜の堆砂
明治11年7月着工
波浪を防ぐ外防波堤が未施工(第二期工事)
被災の調査・**ムルテル**→再興には多額の費用、**実質ダメ出し**

福井県・三国港 **エッセル**、九頭竜川の粗朶沈床(**エッセル堤**)、苦勞しながら機能発揮
明治11年6月着工

熊本県・三角港 **ムルテル**が熊本県提案の河口港を変更し、三国港へ設計変更した
明治17年5月着工
野蒜港の挫折、三国港の苦惱は、三角港に活かされた

幻の港・野蒜築港は、その後の港湾建設の貴重な教訓となった

- 現地での説明（貞山・北上・東名運河研究会・後藤などが対応、学会発表の資料をもとに説明）
 - ・野蒜築港の歴史、頓挫の歴史と教訓
（鳴瀬川河口、野蒜海岸の地形の成り立ち、河口港の宿命・堆砂問題、オランダ技術者による明治三大築港での技術検証、日本の近代港湾技術への教訓など）
 - ・津波被災の状況
 - ・悪水吐暗渠（震災前後）の知見（近代土木技術としての価値と歴史的な位置付けなど）
 - ・レンガ橋台の構造と津波遺構としての検証（3つの橋の津波被災パターンが異なる）
 - ・市街地跡の保存状況（市街地計画の特徴、マンハッタンの市街地に酷似の訳など）
 - ・野蒜測候所の保存状況（測候所の果たした役割など）
 - ・黒沢敬徳碑の保存状況（市街地跡の環境整備の状況）
 - ・野蒜築港記念碑（天屋公園）の保存状況
 - ・東北の三大近代土木遺産（野蒜築港、安積疏水、万世大路、いずれもオランダ人が関与）としての東北開発の先陣を担った近代土木遺産群。
これに伴い、もともと学力と施工技術を近世から備えていた東北や日本の土木技術者達が実力を伸ばしました。「野蒜築港」頓挫から学ぶ幕末から明治初頭の近代土木技術の変遷を検証し、その学術的な意義を考えます。

7. 東北の三大近代土木遺産「野蒜築港」「安積疏水」「万世大路」 2024.09.29 10.20

東北の三大近代土木遺産である「野蒜築港」「安積疏水」「万世大路」はいずれもオランダ人技術者が関与しており、近年、これらの土木遺産を巡るインフラツアーが動き出しています。

東北の三大近代土木遺産

いずれも、内務省お雇いオランダ人が関与

野蒜築港 明治政府直轄事業・東北開発の交通網の中心港を期待された

幻の港が教えるものは… ドーレンの設計、ムルテルの技術伝承

安積疏水 日本初・明治政府直轄の農業水利事業 ドーレンの監修・助言

先人の地を見る力、地元土木技術者たちの活躍

万世大路 先端技術を駆使し、地元が造り上げた土木構造物 エッセルの助言

栗子山隧道、石橋群

これまでも、貞山・北上・東名運河研究会や野蒜塾では、安積疏水や万世大路の関係者を招き、野蒜築港と共に、土木遺産の顕彰や情報交換を行ってきた。その結果、以下の2件のインフラツアーが動き出している。

1) 米沢市万世コミュニティーセンターの「野蒜築港」視察 2024.09.29

米沢市万世町の住民の方々が、歴史の道土木遺産萬世大路保存会の梅津会長の斡旋で、8/22 に視察の下見（東松島市商工観光課、東松島市震災伝承館（旧JR仙石線野蒜駅）奥松島観光物産公社、野蒜市民センター、キボッチャ（旧野蒜小学校）、宮城県漁業協同組合鳴瀬支所、貞山・北上・東名運河研究会と野蒜塾などが対応）、9/29（日）に約30名で視察（バス）の予定。前年度に「安積疏水」を視察済み。

2) 歴史の道土木遺産萬世大路保存会の「野蒜築港」視察 2024.10.20

米沢市の歴史の道土木遺産萬世大路保存会の役員の方々を中心に、10/20（日）に約30名で視察（バス）の予定。

これらも含め、南東北インフラツアーとして、宮城県・福島県・山形県の土木遺産関係者が旅企画を検討中。

令和6年度 事業計画（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1. 清掃活動（6月、3月）

6月23日10時より貞山公園にて。

3月は調整中。

2. 貞山運河を巡るバスツアー（9月下旬）

9月23日。

松島明治潜穴から、石井閘門（北上運河）、釜閘門、大曲閘門、野蒜築港等を巡る。

3. 運河クルーズ&ハゼ釣り大会焼干し作り（10月後半～）

詳細調整中。

4. 貞山運河ネット事業への共催（11月頃）

5. HPの情報拡充

過去の活動実績や貞山運河の紹介ページを作成。

6. 定例役員会12回（第3週水曜日16時）

R5年度 活動実績（仙台湾運河群歴史協議会）

年月日	内 容
R5年 5月13日	【総会記念講演会】 「御舟入堀と御舟曳堀 ～仙台北下への物流ルート～」 講師：畑井 洋樹氏（仙台市歴史民俗資料館 学芸室長）
11月26日	【野蒜研修会（交流会）】 第1部：講演会「野蒜築港と仙台湾岸の運河群」 講師：後藤光亀氏（貞山・北上・東名運河研究会世話人） 松川清子氏（野蒜築港ファンクラブ事務局長） 第2部：現地探訪「野蒜築港市街地跡と東名運河を巡る」 案内：後藤 光亀氏・野蒜塾・野蒜築港ファンクラブ
R6年 2月11日	【講演会】 「蒲生御蔵跡第1次発掘調査結果の報告」 講師：平間 亮輔 氏（仙台市文化財課）

R05.11.26 野蒜研修会・交流会 第2部：東名運河・野蒜築港探訪会



R6年度 活動計画（仙台湾運河群歴史協議会）

年月日	項目	内容等
R6年 5月18日	<p>【総会記念講演会】 「昭和時代の写真や映像でみる仙台市沿岸のまちなみ」 講師：佐藤 正実 氏（風の時編集部代表 & 3.11 オモイデアーカーカイブ代表）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和時代に撮影された震災前の仙台市沿岸部のまちを紹介いただき、参加者との対話を通しながら当時の懐かしい記憶を思い出す場となった。
10月(予定)	<p>【舟で運河を巡る研修会(交流会)】(第3回) 第1部：講演会「木引堀の歴史」(仮題) 講師：岩沼市の研究者 第2部：現地探訪「木引堀を舟で巡る」(予定) 案内・協力：「新貞山ローイングクラブ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整会議参加団体と交流連携を進めることとしている。 ・これまでの講演会等のアンケート結果からも「運河を舟で巡る」等の希望が多いことから、「舟で運河を巡る」研修会(交流会)を開催したい。 ・今年度は、活動への参加を呼びかけている「新貞山ローイングクラブ」との交流をお願いしたい。 ・なお、今後も各団体とテーマを相談しながら交流連携を進めていきたい。
R7年 1月下旬～2月中 (予定)	<p>【講演会】 「蒲生御蔵跡掘調査結果からみる仙台湾岸の津波痕跡」(仮題) 講師：東北大学災害科学国際研究所 研究員(予定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年の「蒲生御蔵跡発掘調査」において、3つの津波堆積物の層が確認された。 ・このうち上からの2層は慶長奥州地震(1611年)と享徳地震(1454年)ですが、新たな層は1200年代と思われるものでM8程度の地震と推定されている。 ・また、他の箇所では、貞観地震(869年)や弥生中期(2000年前)と思われる津波堆積層も確認されている。 ・これらを含め仙台湾沿岸から見つかった津波堆積物層から分かってきた最新の研究成果について講演会を予定。

R6年度 活動計画（貞山運河倶楽部）

年月日	内 容
5月19日	貞山運河小屋めぐり
8月3日	貞山運河の渡し船イベントの中で、和船の櫓漕ぎ体験会
9月15日	貞山運河小屋めぐり
10月13日	貞山運河の渡し船イベントの中で、和船の櫓漕ぎ体験会
11月17日	貞山運河小屋めぐり
2月16日	貞山運河フォーラム
3月9日	貞山運河小屋めぐり
9月28日、29日	いい川・いい川づくりワークショップに参加予定 (会場：石川県白山市)

R5年度 活動実績（貞山運河ネット）

年月日	内 容
(例) 4月	除草・清掃活動を実施。(約〇名参加, 〇〇団体と協働) 等
5年 6月	貞山運河のドローン動画制作 ゆりあげ港朝市メイプル館で放映中
8 & 9 月	六郷小学校 4 学年を対象に貞山運河学習 (座学&新堀実地見学。120名参加)
10& 11月	北上川&貞山運河群沿線各団体と連携したコメ運びイベント (国交省北上川下流河川事務所、登米市立登米小学校、 石巻観光協会、ひたかみ水の里、御舟入堀プロジェクトと連携)
11月	貞山運河ネット解説動画の制作
12月	貞山運河のパネル常設展示 ゆりあげ港朝市メイプル館で常設
6年 2月	貞山運河歴史セミナー (名取市文化会館。聴衆 312 名 名取市教育委員会と共催)

貞山運河ネット

令和6年度計画は次の通りです。

- ① 六郷小学校での貞山運河授業開催 8月末実施予定
同小学校4年生を対象にした貞山運河の机上学習を行う。
- ② 貞山運河 舟遊びの実施
会員向けに貞山運河の概要を知るため木曳堀周遊を有料で行う。9月～10月予定
- ③ みやぎの運河群を活用したイベント開催 10月&11月
登米市から名取市まで北上川、旧北上川、北上運河、東名運河、松島湾、御舟入堀、新堀を舟で物産を運ぶイベントを行う
一連携（行政）国土交通省北上川河川事務所、登米市立登米小学校、登米市立津山小学校、登米市他みやぎの運河群沿川自治体。（みやぎの運河群関係団体）ひたかみ水の里、すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会、貞山運河倶楽部、貞山運河「御舟入堀」プロジェクト連携。（北上川関係団体）登米北上川カッパの会他一
- ④ 貞山運河見学会の実施 10月
貞山運河全体を見学していただくためのツアーを行う。塩釜から岩沼に至る運河の全容の説明を聞きながらバスで巡っていただく。有料。
一仙台リビング新聞社連携一
- ⑤ みやぎの運河群（東名運河、北上運河）の空撮 進行中、12月末完成予定
昨年度完成した貞山運河のドローン撮影に加え今年は松島湾から石巻市までつながる東名運河、北上運河の制作を新たに行う。これにより岩沼市から石巻市までの「みやぎの運河群」を一望に収めることとなる。
本映像は商業用以外であればどなたでも無料で提供する。
一すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会協力一
- ⑥ 貞山運河 歴史セミナーの開催 7年2月ごろ予定
- ⑦ 「みやぎの運河群」の冊子作製 7年3月完成予定
貞山運河に東名運河、北上運河を加え「みやぎの運河群」全体の冊子制作を企画する。

R5 年度 活動実績 (新貞山ローイングクラブ)

年月日	内 容
毎月第2 日曜	貞山堀（木曳堀）での乗艇練習
適宜	乗艇場所の清掃活動（東北大学漕艇部と共同）
8月	阿賀野川流域の喜多方レガッタへの参加、交流
9月	東北大学漕艇部の北上川遠漕の支援
10月	石巻レガッタ（北上川）の参加、交流
2月	貞山運河歴史セミナー 参加

R6年度 活動予定（新貞山ローイングクラブ）

年月日	内 容
毎月第2 日曜	貞山運河（木曳堀）にて乗艇練習
逐次	乗艇場所周辺の清掃活動（東北大学漕艇部と協同）
7月	全国マスターズレガッタ（長沼）参加と交流
9月	東北大学漕艇部の北上川遠漕の支援
10月	石巻レガッタ（北上川）の参加、交流

三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興プロジェクト NO.9

<背景>

■東日本大震災

- ・自然環境、自然公園施設・自然体験型利用への影響
- ・自然の脅威とのかかわり方の再考

■守り・育まれてきた自然と人とのかかわり

- ・豊かな自然に支えられた地域のくらし、文化、産業、
里山・里海

三陸復興国立公園の創設を核とした

グリーン復興を実施<7つのプロジェクト>

- ①三陸復興国立公園の創設（自然公園の再編成）
- ②里山・里海フィールドミュージアムと施設整備
- ③地域の宝を活かした自然を深く楽しむ旅
- ④南北につなぎ交流を深める道・みちのく潮風トレイル
- ⑤森・里・川・海のつながりの再生
- ⑥持続可能な社会を担う人づくりの推進
- ⑦地震・津波による自然環境への影響の把握

三陸復興国立公園

平成25年5月24日指定

たねまし
はしかみだけ
旧・種差海岸階上岳

旧・陸中海岸

気仙沼

旧・南三陸金華山（平成27年3月31日編入）

けんじょうちばんまんごんこうら
硯上山万石浦



松島

松川浦



- 平成25年5月
- 令和5年6月

三陸復興国立公園の指定
みちのく潮風トレイル全線開通

みちのく潮風トレイルについて

- 環境省は、東日本大震災後、持続可能な地域づくりを目指すと共に豊かな自然と地域の暮らしを未来に引き継ぐため「グリーン復興プロジェクト」を策定し、その取り組みの一つとして青森県八戸市から福島県相馬市までの4県29市町村にまたがる太平洋沿岸を一本の道で繋ぐ「みちのく潮風トレイル」の設定を進めてきたところ。
- 路線は既存の歩道や車道等を活用し、地元の意見を伺いながら設定。
- 標識、情報提供施設など利用のための整備を進め、自然風景、集落、観光スポット等を徒歩でつなぐことにより、地域の観光業・農林水産業を活性化し、復興に貢献するのが狙い。
- 平成31年4月に、ハイカーの拠点となる「名取トレイルセンター」がオープン。みちのく潮風トレイルの全線の統括本部として、路線管理、情報発信等を実施。
- 令和元年6月9日をもって全区間が開通し、全長1,000kmを超えるみちのく潮風トレイルの全線の設定が完了。令和3年10月に全線の標識整備が完了。



- 環境省、みちのく潮風トレイル統括本部、沿線5か所のサテライト施設、沿線自治体
が連携して、路線管理や情報収集・発信、
利用促進等を担っている。

名取トレイルセンターについて

2019（平成31）年4月にオープンした、みちのく潮風トレイルを歩く上で必要な情報を発信・提供する環境省直轄施設。トレイルを歩くハイカーや地域住民、観光で来館された利用者が交流できる空間を提供。

センター内では、トレイル沿線の情報を展示した巨大パネルや、日本国内や世界のロングトレイルに関する書籍を見ることができ、80名収容可能な講義室、自然体験プログラムを提供する実習室、会議室などを整備。2021（令和3）年10月より野営場の供用を開始。園庭では地域の関係者との協働の下、森づくりを進めている。

【施設利用者数】 2019（令和元年）度 21,359人

2020（令和2年）度 13,126人 2021（令和3年）度 12,703人

2022（令和4年）度 18,491人 2023（令和5年）度 18,248人

みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会

会長（名取市長）

構成員

環境省

名取市

NPO法人

みちのくトレイルクラブ※

37

※協議会事務局



センター外観



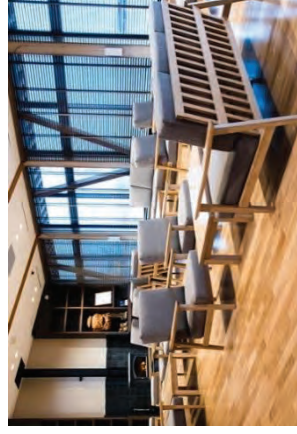
合同植樹の様子



再生可能エネルギー由来の電力調達

センターの機能

- ・案内カウンター
- ・売店
- ・トレイル全線の大型地図
- ・講義室、実習室
- ・チャットルーム等
- ・野営場（2021年10月供用開始）



トレイルと貞山運河(仙台市)



令和6年度の主な取組について

みちのく潮風トレイルは、来年限和6年6月9日は全線開通から5周年の節目を迎えました。

これを記念して、令和6年6月8日に岩手県宮古市にて記念式典を開催しました。みちのく潮風トレイルの関係者やハイカーなど約200名が出席し、八木環境副大臣や鈴木財務大臣と4県29市町村長等があらためて団結し連携することをアピールしました。



全線開通5周年にあわせて、沿線各地でウォーキングイベントを実施しています。令和6年6月23日には、名取仙台区間でイベントを開催し、約300人の方が貞山運河沿いを歩きました。



引き続き、さまざまな機会を捉えてみちのく潮風トレイルの活用を図ってまいります。

[ホーム](#) > [くらし・手続き](#) > [環境・衛生](#) > [環境](#) > 多賀城市の環境啓発事業

いいね! 0

ポスト

更新日: 2024年8月1日

多賀城市の環境啓発事業

令和6年度事業

たがじょう生き物調査隊

日にち: 令和6年5月19日 (日曜日)

場所: 多賀城みずむすび公園

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに草花や生き物を探しました。用意されたオタマジャクシやヘビに触れてみたり、ネイチャークラフトの作成に取り組んだり、体を動かし楽しむ様子が見られました。

近くの真山運河では、下流域のゴミ拾いや釣りの体験をしました。ポイ捨てされたたくさんのペットボトルや缶などを拾ったり、初めての釣りに熱中したりしました。



あやめまつり生き物観察ミニツアー

日にち: 令和6年6月15日 (土曜日) ・ 16日 (日曜日)

場所: あやめ園～多賀城政庁跡周辺

あやめまつりで賑わう園内や多賀城跡周辺を散策し、生息している植物や生き物を観察しました。東北緑化環境保全株式会社の方々の解説を受け、多賀城市内にもさまざまな生き物が生息していることを知りました。参加者は、普段はあまり機会のない自然との触れ合いを満喫しました。



夜の生き物観察会

日にち: 令和6年6月29日 (土曜日)

場所: 市川字館前周辺 (小学生による古代米の作付場所)

市内の小学生が田植えをした田んぼの周辺で、特別史跡のミニ講座や生き物の観察を行いました。東北緑化環境保全株式会社の方々の解説を受けながら、田んぼ脇の水路を覗いたり、多賀城市内に生息する動物の特徴を学んだりしました。



たがじょう環境研究所-南極支部-

日にち：令和6年7月27日（土曜日）

場所：中央公民館（文化センター内）

第49次南極地域観測隊の石井洋子さんのお話は、観測隊の生活や南極の気候・生き物に関する内容でした。南極は地球全体を冷やす役割を持っており、南極の環境は地球の環境とつながっていることを学びました。

体験ブースでは、うちエコ診断や南極クイズ、発電体験に取り組んだり、多賀城市で採集した昆虫の標本を見たり、多賀城高校SS科学部で研究している「マクラギヤスデ」についてのクイズに挑戦したりしました。



令和5年度事業

たがじょう春の生き物調査隊

日にち：令和5年6月4日（日曜日）

場所：多賀城みずむすび公園

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、カナヘビや草花を宮城県森林インストラクター協会の方々とともに採取したり、ネイチャークラフトに取り組んだり、体を動かし楽しむ様子が見られました。

近くの貞山運河では、下流域のゴミ拾いや釣りの体験をしました。普段の生活では触れることの少ない自然を満喫したり発見や学びを得たりと、充実した時間を過ごしていました。



たがじょう水辺の生き物調査隊

日にち：令和5年6月25日（日曜日）

場所：砂押川市川橋付近

多賀城市内の小学生と保護者が、砂押川にどのような生き物が生息しているのか調査しました。川に入ったことがないという児童も多く、川の中を観察したり魚やザリガニを捕ったりと初めての体験を楽しんでいました。

いろいろな生き物が関わり合つ生態系から得られる思みを「生態系サービム」といいます。今回見つけた生き物たちも生態系の一部です。参加した児童たちは、生物多様性を守ることが私たちの暮らしを支えることに繋がることを学びました。



夏季特別環境講座

日にち：令和5年8月19日（土曜日）

場所：大代地区公民館

小学生と保護者が、メタバース空間を利用して環境講座を受けました。株式会社TBMからはLIMEXという素材について、多賀城高校からは災害に関連した研究内容について教わりました。実際にLIMEXを破ってみたり、多賀城市にかかわる災害をテーマとした研究内容を知ったりと興味深く講座を受けている様子でした。メタバース空間内で行うクイズでは、楽しんで取り組む様子が見られました。

参加した児童たちは、いろいろな研究や技術に触れ、自分たちの生活の中でも環境を意識した選択をできることを学びました。



たがじょう秋の生き物調査隊

日にち：令和5年9月10日（日曜日）

場所：多賀城みずむすび公園

多賀城市内の小学生と保護者が公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに作成したネイチャークラフトで遊んだり、カナヘビやコオロギを捕まえたりと、体を動かし楽しむ様子が見られました。

近くの貞山運河では、下流域のゴミ拾いや釣りの体験をしました。自然の中の遊びを満喫したり発見や学びを得たりと、充実した時間を過ごしていました。



多賀城政庁跡生き物調査隊

日にち：令和5年9月24日（日曜日）

場所：多賀城政庁跡周辺

小学生と保護者が多賀城政庁跡を散策し、周辺に生息する生き物を調査しました。東北緑化環境保全株式会社の方々から解説を受け、多賀城の歴史や万葉植物に関するクイズに取り組みました。

本植物に因る環境への影響が大きい。

参加した児童たちは、積極的に質問をしながら虫捕りや植物観察を楽しんでいました。多賀城には深い歴史があること、その歴史を守ることが自然環境の保護にも繋がることを学びました。



食品ロス削減親子クッキング

日にち：令和5年10月1日（日曜日）

場所：多賀城市文化センター内中央公民館調理室

多賀城市内の小学生と保護者が食品ロスについて学び、食品ロス削減を取り入れたごはんを作りました。

参加した児童たちは、いつも捨ててしまう野菜の皮や芯から煮出した「ベジブロス」がとても甘いことに驚いていました。包丁を使ったり肉団子を丸めたり、調理を楽しむ様子が見られました。

当日のレシピを以下に掲載しています。ぜひおうちで作ってみてください。

[「たがじょう食堂」](#)



令和4年度事業

たがじょう春の生き物調査隊

多賀城市内の小学生と保護者が、2日間の「たがじょう春の生き物調査隊」の活動を行いました。

1日目

日にち：令和4年5月8日（日曜日）

場所：うしちゃん多賀城緑地公園

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、釣り餌となるミミズなどを宮城県森林インストラクター協会の方々とともに採取したり、そのまま食べられる植物をちぎって味見してみたりと、様々な体験に挑戦しました。

近くの真山運河では、下流域にはどのようなゴミがあるのかを調査し、多くの缶やペットボトルのゴミを回収しました。活動全体を通じて、市内には多様な生き物がいる一方で、自然環境が汚されている状況を知る機会となりました。



2日目

日にち：令和4年5月28日（土曜日）

場所：宮城県民の森青少年の森

森の中を散策しながら、森に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに、カエルやイモリを採取したり、見つけた生き物を図鑑で調べたりしました。

また、森の維持管理に必要な植林や除草、道づくりなどを体験しました。慣れない作業でしたが、それぞれの児童が積極的に挑戦する様子が見られました。豊かな森には多様な生き物が生息しており、その環境づくりに人も携わっていることを知る機会となりました。



水辺の生き物調査隊

日にち：令和4年6月26日（日曜日）

場所：砂押川市川橋付近

多賀城市内の小学生と保護者が、水辺にどのような生き物が生息しているのか調査しました。今回の調査では、二ホンウナギなどたいへん珍しい生き物を確認することができました。またブラックバス、ウシガエルのオタマジャクシなど、特定外来種の生息も同時に確認されました。

砂押川の中にいろいろな生き物が生息していることを確認した一方で、缶、ビンなどのごみも見つかりました。参加した子どもたちは、人間のごみが自然環境の中に入り込んでしまうと、その生き物たちの住処を壊してしまうため、ごみをしっかり処分する必要があることを学びました。



たがじょう秋の生き物調査隊

多賀城市内の小学生と保護者が、2日間の「たがじょう秋の生き物調査隊」の活動を行いました。

1日目

日にち：令和4年9月11日（日曜日）

場所：加瀬沼公園周辺

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した子どもたちは、見つけた虫や植物を直接手に取るなど、自然の中での活動を楽しんでいる様子が見られました。講師である宮城県森林インストラクター協会の方々から、見つけた動植物に関連する解説があり、子どもたちは興味深そうに話を聞いていました。



2日目

日にち：令和4年10月9日（日曜日）

場所：宮城県県民の森青少年の森

森の中を散策しながら、森に生息する植物や生き物を調査しました。参加した子どもたちは、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに、見つけた生き物を図鑑で調べたりしました。また、森の維持管理に必要な植林や除草、道具の使い方などを体験しました。難しい作業にも積極的に挑戦する姿が見られ、保護者の方々とともに森づくりの大切さを学びました。



令和3年度事業

たがじょう自然であそび隊

日にち：令和3年4月24日（土曜日）

場所：うしちゃん多賀城緑地公園

宮城県森林インストラクター協会の案内で、園内を散策しながら樹木や草花を親子で観察しました。

子どもたちは木登りやボール遊びをして、ぶんぶんごまや枝のえんぴつなども作りました。

公園隣の砂押貞山運河では釣り体験もあり、自然を満喫していました。



「たがじょう生きもの調査隊」

日にち：令和3年5月30日（日曜日）

場所：加瀬沼公園周辺

参加者は宮城県森林インストラクター協会の案内で、自然の散策路を歩きながら生き物や植物の調査を行いました。

子どもたちは昆虫や水生生物の調査、ネイチャークラフトなど自然での体験を満喫していました。



「水辺の生きもの調査隊」

日にち：令和3年6月27日（日曜日）

場所：砂押川市川橋付近

株式会社東北緑化環境保全のおさかな先生が見守る中、参加者は川の中に入って、網を使いながら小さなカニ、エビ、コイ、マハゼ、ウナギなどの生きものを次々と発見しました。

子どもたちは普段触れ合うことの少ない水辺の生きものに触れ、自然を満喫していました。



※「たがじょう自然であそび隊」「たがじょう生きもの調査隊」は、多賀城市市制施行50周年事業の一つとして行われました。

令和2年度事業

「史都多賀城里山の生きもの調査隊」

日にち：令和2年11月1日（日曜日）

場所：加瀬沼公園周辺

多賀城市の北部には史跡と一体となって保全されてきた里山があります。令和2年11月に市内小学生の親子を対象に、里山に生息する昆虫や植物と触れ合う「史都多賀城里山の生きもの調査隊」を実施しました。参加者は、講師の森林インストラクターから、森の中にある散策路のそばに生えている草花の名前を教わったり、やじろべえ作りなどの遊びを教わったりしました。

平成31年度事業

「史都多賀城環境グループフェス」

日にち：令和元年8月23日（土曜日）、24日（日曜日）、30日（土曜日）

場所：多賀城市文化センター

子どもから大人まで、今を生きる私たちの世代が考え・取り組まなければならない環境について「気づき」を得るきっかけとして開催しました。イベントには市内外から多くの団体に出展していただき、様々な側面からの環境啓発や、ステージでは楽しく環境について学んでもらえるステージイベントなどを行いました。イベント最終日には本市出身の俳優・千葉雄大さんの生まれ育った多賀城の環境に関するトークイベントを行い、本市初となる「悠久浪漫大使」に任命しました。

※「悠久浪漫大使」について



「史都多賀城水辺の生きもの調査隊」

日にち：令和元年7月27日（土曜日）

場所：砂押川

多賀城市の中央を流れる砂押川に生息する魚やエビなどの生き物と触れ合いながら川の水環境を調査する「史都多賀城水辺の生きもの調査隊」を令和元年7月に行いました。参加者は実際に川に入り、調査のプロから魚の取り方などをレクチャーされながら調査を行っていました。川に住んでいる魚などの種類によって川の清らかさなどがわかるので重要な調査になります。

多賀城市の生き物たち

多賀城に広がる環境と生き物たちを、データでご紹介しています。

- [多賀城市の生き物たち \(PDF:\)](#) (PDF: 3,133KB)

よくある質問

現在よくある質問は作成されていません。

お問い合わせ

47

都市産業部環境施設課資源環境係
〒985-8531 宮城県多賀城市中央二丁目1番1号
電話番号 : 022-368-4126
ファクス : 022-368-9069

[サイトマップ](#) [このサイトについて](#) [ウェブアクセシビリティ方針](#) [お問い合わせ](#) [リンク設定](#) [携帯サイト](#)



多賀城市

〒985-8531 宮城県多賀城市中央二丁目1-1 電話番号 : 022-368-1141 (代表) FAX : 022-368-8104

[市役所へのアクセス](#)

[庁舎案内](#)

Copyright © City of Tagajo All Rights Reserved.

海岸公園整備事業

■ 都市計画区域の変更

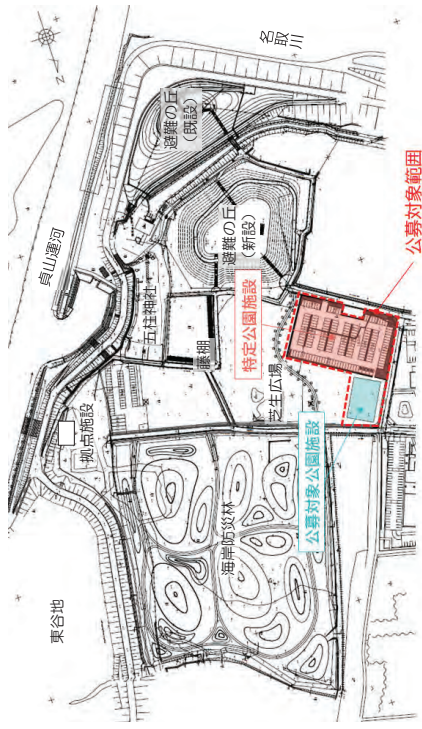
令和6年4月5日付けで海岸公園の都市計画区域を変更し、藤塚地区が編入された。
(海岸公園区域面積：変更前 552.1ha ⇒ 変更後 561.7ha)

■ 藤塚地区官民連携事業

海岸公園（藤塚地区）基本計画（R5.6 策定）に示す「水辺交流ゾーン」及び「にぎわいゾーン」に計画している拠点施設、全天候型遊び場の公園施設について、Park-PFI 等官民連携事業を活用した整備を目的とする。

(1) 実施状況

- R4 年度 整備方針検討（～R5 年度）、にぎわいづくり検討会（計4回）
- R5 年度 海岸公園（藤塚地区）基本計画策定（6/30）
官民連携事業化検討（周辺事業者動向調査・マーケットサウンディング含む）
- R6 年度 Park-PFI 事業公募設置等指針を策定し、全天候型遊び場の事業者を公募中（6/24～9/30）



〈公募対象公園施設〉

- ・必須提案 全天候型遊び場（建築面積 1,000 m²程度）

〈特定公園施設〉

- ・必須提案 屋外トイレ、駐車場（160 台を基本）

(2) 今後の事業展開

- R6 年度 全天候型遊び場の公募設置等計画認定（事業者決定）（R7.1）
- R7 年度 全天候型遊び場整備、拠点施設の事業化検討
- R8 年度 全天候型遊び場の使用開始、拠点施設の事業者公募・決定



■ 名取川藤塚地区かわまちづくり事業

藤塚地区防災集団移転跡地の「公共利用ゾーン」を海岸公園（藤塚地区）として整備するにあたり、国土交通省の「かわまちづくり支援制度」を活用し、貞山運河の利活用と周辺の自然環境を活かした自然体験・学びの場等の創出を図ることを目的とする。

(1) 実施状況

- ～R4 年度 かわまちづくりに関する勉強会、にぎわいづくり検討会
- R5 年度 「名取川藤塚地区かわまちづくり計画」登録（8/10）
- R6 年度 かわまちづくり勉強会（庁内）開催（7/2）

(2) 今後の事業展開

- R6 年度 かわまちづくり協議会・かわまちづくりワーキンググループを開催（～R9 年度）
河川管理施設（親水護岸等）の実施設設計（国交省）
- R7～9 年度 河川管理施設（親水護岸等）の施工（国交省）



イメージパース（船溜まり周辺）

(3) かわまちづくり協議会、ワーキンググループ

かわまちづくり計画の実施等にあたっては、具体的な施設の仕様や将来的な事業主体として運営方法について検討するためワーキンググループにおいて意見交換を行い、その結果をとりまとめ協議会へ報告、協議会において決定する。

*かわまちづくり協議会 委員構成

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 教授	宮原 育子
東北学院大学 地域総合学部 教授	平吹 喜彦
仙台 Reborn 株式会社 アクアイグニス仙台 支配人	平間 雅孝
一般社団法人 貞山運河ネット 会長	櫻井 広行
宮城県漁業協同組合 仙台支所 支所運営委員会 委員長	秋葉 吉夫
旧 藤塚地区町内会長 (現 久保田東町内会長)	東海林 義一
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 副所長	金 真一郎
名取市 生活経済部 部長	小畑 和弥
仙台市 文化観光局 観光交流部 部長	高橋 みちる
仙台市 都市整備局 市街地整備部 部長	鈴木 陽
仙台市 若林区 まちづくり推進部 部長	柳沢 淳
仙台市 建設局 百年の杜推進部 部長	鈴木 江美子

*かわまちづくりワーキンググループは、舟運、水上アクティビティ、エコツアー、サイクリング等の事業者で構成する。

*開催予定(R6年度)

R6.7.24 第1回協議会

R6.8 第1回ワーキンググループ

R6.11 第2回ワーキンググループ

R7.2 第2回協議会

■ 海岸公園整備 (荒浜地区、藤塚地区)

海岸公園復興基本計画(H25.11 策定)を踏まえ、震災復興のシンボルとして津波防災機能を持たせつつ、自然と人とのつながり、新たなにぎわい・交流をつくる公園として整備を行う。H30 年度までに第1ステージである災害復旧を終え、H31 年度より新たな機能の追加整備を進めている。

(1) 実施状況

H25 年度	海岸公園復興基本計画策定
H26～30 年度	海岸公園災害復旧工事(H30 全面利用再開)
H31(R1)年度	荒浜地区 パークゴルフ場拡張(27ホール化)着手
R2 年度	荒浜地区 貞山運河沿い桜植樹
R4 年度	藤塚地区 整備方針検討、にぎわいづくり検討会
R5 年度	藤塚地区 基本計画策定、かわまちづくり計画登録、官民連携事業化検討、基本・実施設計

(2) 今後の事業展開

*荒浜地区

R6 年度

パークゴルフ場 27ホール化 工事完成、使用開始(秋頃)

R7 年度

パークゴルフ場 36ホール化 用地測量・基本設計

R8 年度～

パークゴルフ場 36ホール化 実施設計

パークゴルフ場 36ホール化 用地取得、整備工事(～R10 年度見込)



*藤塚地区

R6 年度

整備工事(避難の丘、公園基盤)

R7 年度

整備工事(避難の丘、芝生広場(西側)、海岸防災林)

R8 年度

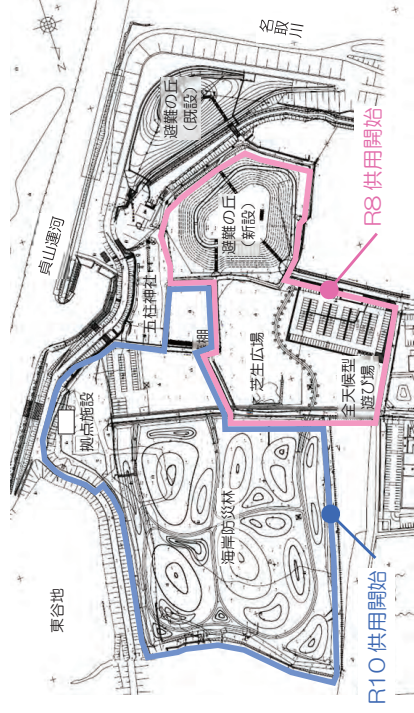
一部供用開始(全天候型遊び場・駐車場・芝生広場・避難の丘)

R8～9 年度

整備工事(芝生広場(東側)、海岸防災林、藤棚、解説板、河川側帯部)

R10 年度

全面供用開始



■ 避難の丘改修(かさ上げ)(岡田地区、荒浜地区)

令和 4 年度に宮城県が公表した新津波浸水想定により高さが不足する岡田地区及び荒浜地区の避難の丘の改修(かさ上げ)工事。現在、盛土施工中だが、丘の表面に設置する芝は品質確保のため夏季の施工は避けることが望ましく、9月以降に施工することとなったため、完成時期を以下のとおり変更する。

・岡田地区：変更前 9月末 ⇒ 変更後 11月末

・荒浜地区：変更前 8月末 ⇒ 変更後 10月末

1. 貞山運河親子カヌー体験会

仙台市若林区海浜エリア活性化企画室

1. 事業概要

カヌー体験を通して貞山運河の自然を身近に感じ、新たな魅力を発見いただくことを目的として、体験イベントを開催。

2. 日程

令和6年6月16日(日) 午前の部:9時半～12時 / 午後の部:13時半～15時

3. 場所

海岸公園センターハウス西側(仙台市若林区荒浜字北官林30)

4. 参加者

小・中学生親子14組28名(24組48名応募・抽選)

5. 参加者の感想 (以下、参加者アンケートから抜粋)

- ・市中心部から少し離れた場所で、自然を身近に感じられる体験ができ、貴重な時間を過ごせた。
- ・怖かったけど楽しかった。人生初の体験で刺激的だった。
- ・普段できない体験ができた。
- ・疲れたけどスピードが出た時にとっても楽しく気持ちよくて満足した。



1. 事業概要

小型船運航により貞山運河の魅力を知っていただくとともに、運航にあたってのニーズや課題を把握し、将来的な舟運等の利活用に向けた検討を進めることを目的として開催。

2. 日程

令和6年7月29日(月)、8月1日(木)、8月2日(金) 計3日間
いずれも10時、11時、13時、14時の4便運航(各35分程度)

3. 運航ルート

かわまちてらす閑上前棧橋から井土浦樋門又は貞山運河水門

4. 参加者

110名(312名応募・抽選)

5. 参加者の感想 (以下、参加者アンケートから抜粋)

- ・普段見られない所を見られて楽しかった。
 - ・荒浜の辺りまで行ってみたい。
 - ・ガイドが同乗して歴史や自然について解説してほしい。
- ※今回はガイドは同乗せず、解説音声テープにより対応。



【運航ルート】

令和6年9月4日
みやぎの運河群連絡調整会議
宮城県仙台土木事務所

貞山運河（新堀）における水質調査について

【令和5年度調査結果】

- 水質調査（各環境基準項目）
→ 運河及び流入する水路において全て基準値（C類型）※を満足
ただし、七北田川側で一部 BOD 等の数値が高い傾向がみられた
 - 南水門開扉（開扉時間4時間、2回実施）による効果検証
→ 水の交換は確認できたが、水質について大きな変化は確認できなかった
 - 沈水植物（水草）の繁茂を確認
- ※貞山運河（新堀）は環境基準の指定がないため、今回の調査では近隣の七北田川下流や貞山運河（御舟入堀）で指定されているC類型を準用

【令和6年度調査内容】

- 水質調査（生物化学的酸素要求量 BOD、溶存酸素量 DO、電気伝導率 EC、水温等）
- 南水門開扉による効果検証（開扉時間1日程度）
- 底質調査（酸化還元電位 ORP、強熱減量）
- 底生動物調査
- 沈水植物の同定調査

